



図書館

児童館



たのしい絵本と紙しばいの会

- ・11月17日(木) 午前10:30～
 - ・12月15日(木) 午前10:30～
- 小さいお子さまのためのおはなし会です。
「たまご」のみなさんが紙しばいや絵本を
読んでくれます。
親子で一緒におこしてください。
・場所 馬頭図書館 1階

高校生ボランティアのおはなし会

- ・12月3日(土) 午前10:30～
- 高校生ボランティアのおねえさんが元気いっばいに絵本を読んでくれます。たのしい工作教室もあります。
・場所 馬頭図書館 1階

婦人ボランティアのおはなし会

- ・12月10日(土) 午後2:00～
- おはなしじょうずなボランティアさんが絵本を読んでくれます。おりがみなどもおしえてもらえます。
・場所 馬頭図書館 1階

読書会

- ・12月14日(水) 午後1:30～
- テキスト 平成17年度 上半期直木賞受賞作
「花まんま」
興味のある方をお待ちしています。
・場所 馬頭図書館 2階

おはなし人材養成講座

11月26日(土) 午後1:30～

テーマ：子どもの本ガイド
講師：田中共子氏
(杉並区中央図書館司書)
場所：馬頭図書館 2階

子どもの本に興味のある方は、ぜひ、どうぞ！

北風が吹き、あったかいものがうれしい季節になってきました。今月も元気に遊びにきてください。

折り紙教室

- ・11月19日(土) 午前10:00～
- とってもかわいいピカチュウバックを作ります。
参加申し込み 16日(水)まで

なかよしひろば

- ・11月22日(火) 午前10:00～
- 新聞紙であそぼう！
参加申し込み 18日(金)まで

生け花教室

- ・11月23日(水) 午後1:30～
- 秋のお花をステキにいけましょう。
新会員募集中です。初めての人も大丈夫！
やってみたい方は18日(金)までに
申し込んで下さいネ。
花代 700円

なかよしひろば

- ・12月2日(金) 午前10:00～
- クリスマスグッズをつくらう！
参加申し込み 11月26日(土)まで
参加費 100円

料理教室

- ・12月11日(日) 午前10:00～
- おやつをつくりましょう。
参加申し込み 12月8日(木)まで
持ってくるもの エプロン・三角巾
参加費 100円



「児童館」

11月16日～12月15日のお休み

開館時間 午前9時～午後4時

☎0287-96-3109

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|-------|------|----|----|
| | | | 11/16 | 17 | 18 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 12/1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | | |

今月の表紙

十月二十七日、和見小学校全校生でのそば刈りが、近くの畑で行われました。児童たちは稲刈りでカマの使い方も上手になり、スムーズに作業は進められ、そば刈りは約一時間で無事終了。

このそばは、十一月に行われる和見つ祭りの際に、そば団子などにして協力してくれた和楽会やPTAのみなさんに振る舞われるそうです。



那珂川町の文化財シリーズ
那珂川町と稲作



三輪仲町遺跡(旧小川町)から出土した土器にモミの跡が残っているものがあります。これは古墳時代から奈良時代初め(一七〇〇年、一三〇〇年前)にかけて使われていた住居跡から見つかった壺で、モミの跡は土器の底の部分に残されていました。土器を作っていた粘土に偶然落ちていた籾殻がついたもので、古墳時代の那珂川町でも稲作が行われていたことが分かります。

稲作は縄文時代の終わりごろに中国や朝鮮半島から九州地方に伝わったとされています。稲と一緒に栽培の技術が伝わり、日本の土地や気候が稲作に適していました。受け入れ方は地域によって異なり、西日本では、東日本では受け入れは遅かったことが分かっています。稲作は田植えから収穫までには年間を通して集落全体の共同作業がありました。富を蓄えることができることが最大の利点とい

えます。

栃木県内では那須町や宇都宮市・上三川町・小山市・鹿沼市などの弥生時代の遺跡から



三輪仲町遺跡の土器

籾の痕がある土器が見つかっています。このことから県内でも遅くとも弥生時代中ごろ(約二千年前)には稲作が行われ、人々が米を食べていたことが分かります。

古墳時代(一七〇〇、一五〇〇年前)になると、米は農民も食べるものであると同時に地域の豪族に納めるものだったことが考えられています。那珂川町の場合、那珂川流域の那須国を治めた豪族がそれに当たります。

現在、私たちが食べている米は、よりおいしい米を目指して品種改良がされてきたものです。そのため様々な種類の米があり、一部の米はブランド米として店頭に並んでいます。収穫の際に邪魔になる、という生産者の都合から穂の先にあるはずの禾(のぎ)は



底についたモミの跡

現在、那珂川両岸に広がる豊かな田園は、古墳時代から千五百年以上続いているものといえます。(なす風土記の丘資料館 学芸員 塩野目育枝)

ほとんどなく、稲本来の姿からは随分離れたものになっています。これに対して古代の米は銘柄などなく、ただ「コメ」であるだけです。当時の米は原種に近く、現在の米と比べれば雑草のように見えるかもしれません。しかし生命力が強く、鳥などから身を守る長い禾や炊いたときに色着くといった特徴があります。近年は健康志向から各地で栽培されています。

土器の底についたモミの跡はわずかに数粒ですが、古墳時代にこの地域で暮らしていた人々にとっても米が大切な作物として栽培され、貴重な食糧だったことを今に伝えてくれています。

うぶごえ

おくやみ

| | | | | | | | |
|----------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|
| (氏名)(父母の名)(住所) | 大金 愛唯 友一 馬頭 | 青柳 璃玖 由樹 大内 | 藤田 絢音 寿彦 小口 | 小高 湊 尚子 和見 | 菊池 亮太 静波 矢又 | 吉田 大地 博之 三輪 | 結城 心湖 靖宏 小川 |
|----------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|

出生届出は掲載希望者のみです。

(9月21日、10月20日 受付分 敬称略)

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|---------------|----------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|-------------------|-----------------|------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| (氏名)(年齢)(住所) | 高田 タケ (88) 馬頭 | 中田 八ツ工 (89) 馬頭 | 益子 清 (78) 大山田下郷 | 高嶋 悦子 (72) 馬頭 | 岡 キミエ (67) 盛泉 | 山木 キヨ (93) 小砂 | 堀江 誠一 (80) 和見 | 田口 恒夫 (80) 小口 | 岡田 進 (58) 和見 | 佐藤 トミ子 (84) 大山田下郷 | 益子 ナヲ (100) 北向田 | 長谷川 澄 (89) 大山田上郷 | 川又 一男 (56) 小川 | 鈴木 イク (79) 小川 | 福澤 梅子 (94) 小川 | 高瀬 和江 (75) 谷田 |
|--------------|---------------|----------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|-------------------|-----------------|------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|

11月1日現在の人口

| | |
|-----|---------------|
| 男 | 10,244人 (±0) |
| 女 | 10,263人 (-10) |
| 計 | 20,507人 (-10) |
| 世帯数 | 5,990 (+6) |

() 内は前月との比較

10月1日男の人口を10,244人にお詫びして訂正します。